100%

がん患者の周術期リハビリテーション実施率

Process

測定値の定義・計算方法

分子：　分母のうち、周術期リハビリテーションを実施した患者数

分母：　がんで手術を施行した患者数（肺・胃・膵・肝・胆道・大腸癌）

活動のきっかけ

がんのリハビリテーションは、患者のQOLの改善を目的とする医療ケアであり、多職種にてがん患者特有の問題に対処するさまざまな専門職からなるチームとして提供される。術後の過剰な安静に伴う、各種合併症の発症を予防する観点からも、術後患者に対してリハビリテーションを提供する体制の構築が必要であり、他病院とのベンチマークを行い、実施体制の構築に向けて取り組む必要がある。

改善活動部門

- リハビリテーション部

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
• がん手術患者277件に対し、周術期リハビリテーション実施率100%を達成し、目標値95%を上回った。 • 対象患者数が前年度より増加する中でも、年間を通して実施率100%を維持することができた。 • 医師の診察からリハビリテーション処方、術後早期からの介入までの体制が定着している。	• 周術期リハビリテーションの実施体制は定着しており、実施率については高い水準を維持できている。 • 実施率100%が継続していることから、今後は実施率の維持に加え、周術期リハビリテーションの質を担保する取り組みが必要である。 • 対象患者への適切な介入時期や介入内容について継続的に確認し、安定した周術期リハビリテーション提供体制を維持していく。